

あなたにとつて

大切なものは何ですか？

長らく町民に愛されてきた日野町民ミュージカル。今年も、11月10日に町文化センターで昼と夜の2回上演され、出演者の熱演に客席から大きな拍手が送られていました。

「パジャマかいじゅう」が  
教えてくれる大切なこと

怪獣のように強くなりたい。そうしたら、何でも食べられるし、外でだつて遊べる。何より、明日が来るのさえ怖くない。

いつか怪獣に会ってみたいと夢見るのは、ひのホスピタルに入院している子どもたち。さまざまな病気を抱えながら、毎日を精一杯生きています。

そんな「パジャマかいじゅう」はある日、病院を抜け出すと、キャンプに出掛けていた子どもたちと出会います。子どもたちはお互い心を通わせ合ううちに、自分にとって大切なものが何かを見つけ出していきます。それをそばで見守る「ドクター怪獣」。そして、パジャマかいじゅうは今日も神様に祈るのです。「どちらの神様でも構いません。宗派も一切問いません。お忙しいですが、10秒だけ私たちの方を向いてください。明日の朝、目が覚めますように……」



▲パラばらじゅう・ちいさいじゅう・レモンじゅうなどなど。個性豊かなパジャマかいじゅうたち。過酷な運命を前にしても笑顔を絶やすことはありません

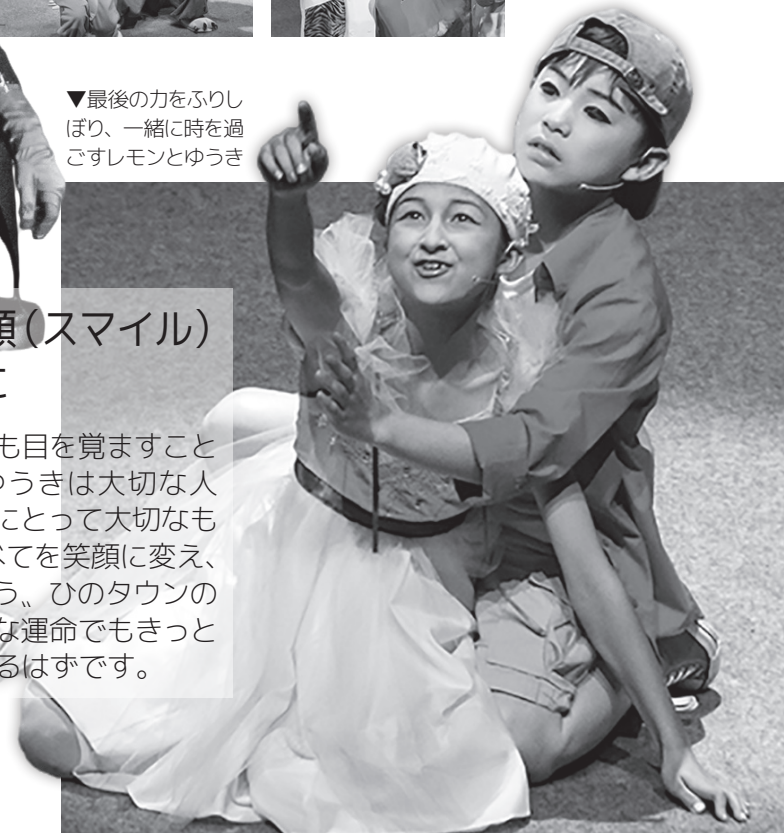


ドクター怪獣から町長さん怪獣まで!?

陰ながらパジャマかいじゅうを支えるひのホスピタルのドクター怪獣に、子どもたちが創り出した南国怪獣。今回は、町制60周年を記念し裕田町長も熱演しました。



▼最後の力をふりしぼり、一緒に時を過ごすレモンとゆうき



病気と懸命に闘う子どもたち。ある出会いをきっかけに運命が動き出す

パジャマかいじゅうを訪れるのは、「悲しい運命=死、なのではないか…。それでも笑顔を忘れない子どもたち。それを天使はやさしく見守っています。



▲「明日の朝、目が覚めますように」眠りにつくパジャマかいじゅうたち

運命を受け入れろと ささやく悪魔。そして……

毎日を懸命に生きるパジャマかいじゅう。でも、明日目が覚めなかったとしたら……?

すべての人が笑顔(スマイル)になりますように

夜が明け、朝を迎えても目を覚ますことがなかったレモン。ゆうきは大切な人の死を乗り越え、自分にとって大切なものを見つけます。「すべてを笑顔に変え、そこからまたはじめよう。ひのタウンの子どもたちなら、どんな運命でもきっと笑顔で乗り越えていけるはずだ。

